緑化奨励制度ご活用を

ゆたかな まちづくり

手入れの行き届いた市内の生垣（国分北で）

市では、緑ゆたかなまちづくりを進めるために、緑化奨励制度を用意しています。みなさんも次の制度を活用し、緑化推進にご協力をお願いします。

【自然緑地保全区域】

樹木が健全で、区域内の面積が500平方㍍以上の樹林地を対象に、自然緑地保全区域として5年間指定を受けられます。指定を受けると、所有者等に奨励金が交付されます（年額＝100平方㍍当たり1500円＋該当地に係る固定資産税および都市計画税相当額。現在、約20万平方㍍を指定済）。

【自然緑地保存樹木】

地上から1・5㍍の高さでの幹周りが1・5㍍以上で、高さが3㍍以上あり、樹容が健全で美観にすぐれている樹木を対象に、自然緑地保存樹木として5年間指定を受けられます。指定を受けると、所有者等に奨励金が交付されます（年額＝1本につき、3000円。現在、樹木132本、並木18本を指定済）。

【保存生垣】

既存の生垣で、樹種等一定の条件を満たしている生垣を対象に保存生垣として5年間指定を受けられます。指定を受けると、所有者等の方に奨励金が交付されます（年額＝1㍍当たり400円。現在、約2600㍍を指定済）。

【生垣設置】

生垣を設置または、植え替えをされる方で、樹種等一定の条件を満たした場合、所有者等に奨励金が交付されます（1㍍当たり5000円・最高15万円を限度）。

※いずれの奨励金も一定の基準がありますので、お問い合わせ後、現地確認に伺います。

問　公園緑地課（内623）。

緑の写真館

身近な作品・傑作をどうぞ

市内の身近な緑を撮影した作品を募集します。

▽テーマ　「緑とふれあい」

▽規格　カラー写真2L判1人3点以内。作品の裏面に撮影場所、題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。市内で撮影した未発表の自作品に限ります。

▽対象　市内在住、在勤、在学の方　▽募集締切　9月18日（木）　▽応募方法　緑化推進協議会（公園緑地課）まで持参か郵送（〒243―0492公園緑地課内）してください　▽表彰等　入賞は1人1賞とし、ネガを提出していただきます。入賞者は来年4月の「緑化まつり」で表彰を予定。また、入賞作品は市役所等に展示します　▽その他　応募作品は返却しません。また、作品は各種緑化推進事業に活用させていただく場合があります。

問　公園緑地課（内線624）。

史跡文化財に関心・意見のある方

文化財等整備活用検討委員会委員募集

教育委員会では、文化財の保存整備や活用の方法などを検討するため、2年前から「文化財等保存整備活用検討委員会」を設置しています。各種団体の代表者を含む委員（任期2年）が、史跡利用のガイドラインや、環境整備計画など、史跡・文化財の活用方法を検討しています。このたび7月末の任期満了に伴って、検討委員を募集します。「歴史と文化のまちづくり」に向けて、史跡文化財に関心や意見のある方の応募をお待ちしています。

▽応募資格　市内在住・在勤で年6回程度の会議に出席可能な方（公務員など公職にある方を除く）　▽任期　2年（8月～平成17年7月31日）　▽募集人数　4人以内（応募多数の場合は選考）　▽応募方法　応募の動機を400字以内にまとめ、住所・氏名・生年月日を明記して、7月28日（月）必着で、〒243―0492、文化財課へ郵送または持参してください。

問　同課（内681）。

ごみと資源の話　④

少量の買い物「袋いりません」

レジ袋　12万市民の節約、1年で約180トン

最近、レジ袋の使用を減らしてごみの減量化を図ることがマスコミ等で取り上げられ、話題になっています。杉並区では、去年3月にレジ袋税が条例化され注目を集めました（現在未施行）。

レジ袋は、ポリエチレンやポリプロピレンといったプラスチックから出来ています。つまりレジ袋は石油製品ということになります。統計では、標準タイプのレジ袋20枚で約100㌘程度の重さですが、国民1人当たりの年間使用量は約300枚といわれ、これは約1・5㌔に相当します。この量を製造するには、原油約3㍑が必要となります。つまり、海老名市民約12万人に換算すると年間約180㌧もの多量のレジ袋が使用され、約360㌔㍑（1㍑のペットボトル36万本分）の石油が使われていることになります。

市では、これらを容器包装プラスチックとして収集し、資源化を図っていますが、かなり多くのプラスチックが燃えるごみとして出されています。燃えるごみとして出され、焼却した場合、大きなエネルギーが必要となるだけでなく、資源化の障害にもなります。

もらうことが当たり前になっているレジ袋ですが、少量の買い物の際は、「袋はいりません」とはっきり断ることが大切です。

レジ袋の削減は、行政・市民・事業者の協力で大きな効果が得られます。例えば、市内のすべての店がレジ袋を提供しない日を設け、その意義をチラシ等でPRするノーレジ袋デーの設定や、全世帯への買い物袋（マイバッグ）の配布、あるいはレジ袋を辞退した客にポイントやシールが与えられ、一定の量が集まると商品券や景品と引き替える制度の導入が挙げられます。

今後も、市民・事業者のみなさんの意見を参考に、レジ袋の削減に取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

問　資源対策課（内541）。

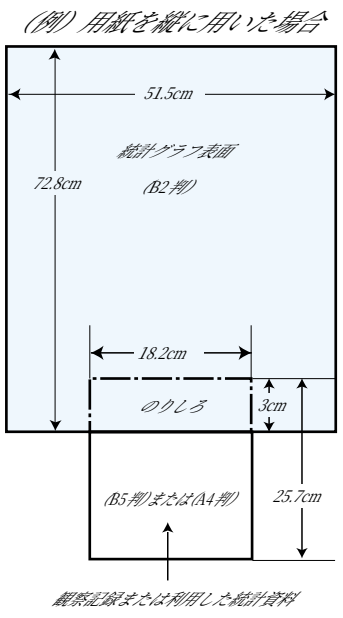
統計グラフコンクールにご応募を

●小学生以上の方　●自分で創作作品

県統計協会では、統計思想の普及および向上を目的に、統計グラフコンクールを実施します。優秀な作品は、統計グラフ全国コンクールへ出品しますので、奮ってご応募ください。

▽応募資格　市内在住または在学・在勤の小学生以上の方　▽課題　自由　▽グラフの大きさ　72・8㌢×51・5㌢（B2判）縦横どちらでも可　▽応募先　〒243―0492地域情報推進課へ郵送または直接お持ちください　▽締め切り　9月5日（金）必着　▽応募上の注意　①作品は自分で創作したものに限ります　②作品の裏面には表題、市名、学校名、学年（一般の場合は、表題、住所、電話番号、職業、年齢）性別、氏名を明記してください。なお、氏名、学校名には必ず「フリガナ」をつけてください　③観察記録または利用した統計資料はB5判またはA4判の大きさで左図のように貼付してください　④統計資料の出所、時点を作品の表に明記してください　⑤応募点数に制限はありませんが、2枚以上にわたる「シリーズもの」は認められません　⑥合作は1作品につき3人以内とします　▽入選発表　9月下旬（予定）　▽その他　入選作品の著作権は県統計協会に帰属します。

問　地域情報推進課（内422）。



◉秋葉山古墳群調査についての説明会

教育委員会では、秋葉山古墳群調査に関する説明会を次のとおり開催します。

▽日時　7月26日（土）午前10時～11時30分　▽会場　上今泉コミセン集会室　▽定員　60人　▽参加方法　直接会場へ。

なお、秋葉山古墳の遺構確認調査を、7月28日（月）～8月13日（水）の間上今泉自然公園内で実施しますので、併せてお知らせします。

問　文化財課（内681）。

7月24日・相模ささら踊り大会開催

相模ささら踊連合会では、次のとおり第27回ささら踊り大会を開催します。当日は、海老名ささら踊り保存会を始め、県内各地のささら踊り保存会が地域の踊りを披露するほか、見学者が自由に参加できる体験教室も実施します。ぜひお越しください。

▷日時　7月24日（木）午後1時30分～4時　▷会場　秦野市総合体育館（秦野市平沢101―1）　▷内容　各団体によるささら踊り披露、体験教室など。

問　文化財課（内682）。